



〈第3回放鳥に向けて

トキの野生復帰訓練を再開〉

佐渡トキ保護センター野生復帰ステーションの順化ケージで平成22年3月10日に発生したテンの侵入によるトキの死亡事故を受けて、天敵対策工事を実施してしました。その工事が終了したため、トキを順化ケージに移動し、飛翔、採餌などの能力を身につけるための順化訓練が再開されました。

8月4日、第3回放鳥候補のトキ14羽（オス8羽、メス6羽）がトキ保護センター（新穂長畝）から野生復帰ステーションに移され、野生復帰ステーション施設内でアニマルマーカー、脚



(写真＝環境省提供)

トキとの共生ルール

- ①優しく静かに見守りましょう。
- ②トキに餌づけをしないようにしましょう。
- ③トキを観察するときには地域に迷惑をかけないようにしましょう。
- ④繁殖期間は、トキの巣に近づかないようにしましょう。ただし、農林業等に従事されている方は、田んぼ等で作業中にトキが近くにいても特別な配慮は必要ありません。

環、GPS発信器などの取り付け作業がなされたのち順化ケージ内に放され、野生復帰に向けた順化訓練が開始されました。今回は、野生環境への適応能力が高いとされる若いトキ（今年生まれた0歳）が4羽加えられました。

◆市役所農林水産課 生物多様性推進室 トキ政策係（第2庁舎）
☎63-3761

今後、3か月以上の訓練期間を経て、11月に野生復帰ステーション順化ケージから放鳥する予定です。

新たに国指定となった 文化財を紹介します

国史跡

佐渡金山遺跡 戸地地区

佐渡鉱山では、鉱山で使用する機械への電力供給のため、北沢火力発電所のほか、戸地にも発電所が建設され、鉱山の動力源となりました。戸地地区は、相川市街地の北約13kmに位置する戸地川流域にあり、戸地川の水を利用した水力発電所が建設された場所です。ここには、上流部の「戸地川第一発電所」と下流部の「戸地川第二発電所」の二つの発電所があり、送電線によって佐渡鉱山まで電気が送られました。

大正4年（1915）に建てられた戸地川第一発電所は、現在、建物が撤去されており、石垣積の敷地に鉄筋コンクリート製の基礎のみが残存しています。大正8年（1919）に建てられた戸地川第二発電所は、斜面にあつた発電用のパイプラインはなくなっているものの、木造平屋建（地下1階）の建物と、発電に使われた発電機、発電用給・排水管などの施設が残されています。戸地地区の水力発電所は、佐渡鉱山の急速な発展にもなつて設置さ



現存する戸地川第二発電所の建物

れた動力設備の様子を伝える貴重な建造物です。鉱山の操業中止に伴い、多くの施設が撤去される中で、戸地川第二発電所は、建物と当時の機械が残されていることが評価され、平成22年2月に国史跡「佐渡金山遺跡」に追加指定されました。

◆市役所世界遺産推進課

（金井コミュニティセンター内）
☎63-5136

世界遺産連続講座 （全5回）

入場無料・申込不要

第5回

日時 10月2日（土）
午後1時～3時

会場 金井コミュニティセンター 大ホール

○「西三川地区文化的景観調査報告－植物の特徴－」
佐渡市文化財保護審議会
委員 北條睦夫さん